

6つのポイント集

縫う準備、糸調節の方法

型式：AG-002 N HC

取扱説明書 2 ~ 12 ページの「ミシン各部の名前」「縫うための準備」を読まれると、より理解しやすくなります。

STEP

1

下糸の巻き方 (P.7)

〈後側〉
付属品の糸立て棒を上からはめる

糸立て棒
糸立て台
糸立て棒に糸コマを入れ、糸コマ押えをはめる
糸コマ押え
糸止めカット
糸コマ

後側からかける
穴に糸を通す
糸かけ
糸立て台
2
案内皿に時計まわりに一度だけ巻き付け両手で糸を引っ張り、案内皿の下に食い込ませる
案内皿
引っ張り
3

・ポビンの穴に内側から糸を通し下糸巻軸に差込む
・ポビンを右側に寄せる

右側に寄せる

ボビン
下糸巻軸

・糸の端を持ちながらミシンを動かし、少し巻いてからミシンを止めて余分な糸を切る
・ミシンを再び動かして、ポビンの動きが止まるまで巻いてからミシンを止める
・左側に寄せてからポビンを引き抜く

切少し巻いて糸を
わし止ボりまればポビンの動きが止まる
左側に寄せる
糸を切る
ポビンを引き抜き

・最初に巻く時は「おそい」に合わせる
おそい はやい
・少し巻いた後は「はやい」に合わせる。
おそい はやい

4

STEP

2

上糸のかけ方 (P.9)

*小さい糸コマのときは糸コマ押えを反対につけます

糸コマ
穴に糸を通す
AとBの間に入れる
A B
針穴へ手前から向こう側に通し押えの下から10cmほど引き出しておく
針穴
10
図のようになっていないかを確認!

針穴系通し器をご使用の場合は、説明書10ページの「針穴系通し器の使い方」をごらんください。

STEP

3

ボビンケースの取り付け方 (P.8)

糸通し溝
ボビンの回転方向
調子パネ
糸口
ツマミ
つものくぼみ

10cmほど糸を引き出しておきボビンケースの中に入れる
糸をボビンケースの糸通し溝に入れる。
*糸を引張った時、ポビンは時計周りにする

糸を左へひっぱり調子パネの下を通して糸口から出す

ツマミを起こして持ち、つものをミシンの釜のくぼみに合わせて差込む

しっかり差込んだ後ツマミをはなして、糸は手前にたらししておく

STEP

4

下糸の引き上げ方 (P.11)

左手で上糸を持ち、はずみ車を手前に一回転させる
上糸と下糸をそろえて押えの下に通し、10cmほど引き出しておく
上糸を軽く引き上げると下糸が引き出される

STEP

5

縫い始めの注意 (P.13)

⚠ 針に手を近づけないで下さい。

ためし縫い布
上糸
下糸

- ・はずみ車を手前に回して針を上げておき、押えを上げて布を入れる
- ・縫い始めの位置ではずみ車を手前に回して針を刺して押えを下げる
- ・布に軽く手を添えてスタートボタンを押す。

STEP

6

上糸・下糸調子のとり方 (P.14)

■糸調子が正しい場合 ■上糸が強い場合 ■上糸が弱い場合

上糸 表 裏
下糸
上糸と下糸が布の中間で交差し、布や糸がつかれたり、たるんだりしていない状態

上糸 表 裏
下糸
上糸が強い場合

上糸 表 裏
下糸
上糸が弱い場合

(小さい数字の方へ回す) (大きい数字の方へ回す)

■布の裏側の糸がパイル状になるのは

表 裏

- ・上糸調子が弱い
- ・押え上げレバーが上のまま
- ・上糸のかけ方が正しくかけられていない

もう一度確認してください。

このポイント集はミシンを使うときの基本的なことを抜粋したものです。

お使いになる前にもう一度、説明書をじっくりお読みください

株式会社 アックス ヤマザキ

20070331